



注意

6月末からぐずついた天候（少照・多雨に加えて夜温の高い気象傾向）が続いていることから、コシヒカリの草丈が急激に伸長しています。一方で大きく葉色低下しているほ場が見受けられます。ほ場ごとに生育診断＝穂肥時期の「草丈×葉色」を確認してから、登熟期間の栄養が不足しないようしっかり穂肥施用（適期・適量）しましょう!!

1. コシヒカリの生育状況（7月10日現在）

速報!

地区	田植日	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(葉)	葉色
寺泊	5/7	75.0	455	11.4	35.7
和島	5/8	78.8	545	11.8	36.7
出雲崎	5/5	76.2	351	11.5	34.7
与板	5/11	73.7	419	11.4	37.1
三島	5/5	75.7	359	11.3	34.2
越路	5/12	75.1	502	11.6	36.4
平均	5/8	75.9	459	11.5	35.9
7/10 指標値	5/10	66.0	450	11.0	36.0

草丈が急激に伸長しています!!

ほ場間差が大きくなっています!!

指標値比（差） 草丈：115%、茎数：102%、葉数：+0.5、葉色：-0.1

- ①【生育】コシヒカリの出穂盛期は8月1日ころ（平年より3日早い）となる見込みで1回目（出穂18日前）の穂肥時期は、7月13～16日ころとなりそうです。
- ②【穂肥】生育診断の結果、草丈が75cmを超えている場合、1回目穂肥の施用は遅め・控えめ（出穂15日前に基準量の半分程度）とします。2回目穂肥（出穂10日前）は、基準量（N成分：1～1.5kg）をしっかりと確実に施肥します!!
- ③【病害虫対策】管内全域で品種を問わず「葉いもち」の発生を確認しています。発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施してください。（裏面参照）

今がコシヒカリ生育診断の旬（適期）です!!



水稲の「生育診断」はJAにお任せください!!

皆さまからのご要望で現地ほ場に出向き、水稲の幼穂長や草丈・茎数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理を個別に指導します。ぜひ、ご活用下さい!!

「生育診断チーム」設置・活動期間：7月上旬～7月下旬まで

～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください!!～

JAえちご中越 さんとう営農センター 農政企画課 ☎0258(41)2887	さんとう北営農センター	☎0258(74)3434
	さんとう営農センター 営農課	☎0258(42)4133
	こしじ営農センター	☎0258(92)5606

裏面もご覧ください!!

2. 病害虫対策 ⇒ ほ場をこまめに巡回して「発生状況」を確認してください!!



①【いもち病】6/22の梅雨入り以降、いもち病に感染しやすい気象条件が断続的に発現し「葉いもち」が発生しています!!

②【紋枯病】今後の気象条件により、発生しやすい品種や前年に多発生したほ場では、病状・被害が進展しやすくなります。

➡ 発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施しましょう!

いもち病



対象病害	薬剤名	使用量・希釈倍数	摘要
いもち病	カスミン液剤	1,000倍	※穂揃い期まで
	ゴウケツ1キロ粒剤【*】	1kg/10a	※出穂5日前まで
	ブラシンフロアブル・粉剤【*】	1,000倍(707g/L) 3~4kg/10a(粉剤)	※収穫7日前まで ごま葉枯病等
紋枯病	バリダシン液剤・粉剤	1,000倍(液剤) 3~4kg/10a(粉剤)	※収穫14日前まで
	リンバー粒剤【*】	3~4kg/10a	※収穫30日前まで

【*】のついている薬剤は、特別栽培米に使用できません!! ご注意ください。



③【カメムシ】カメムシ類の“発生密度”が高まっています!!

➡ 水田内(ノビエ・ホタルイ)、農道畦畔・雑草地(イネ科雑草)の雑草管理を徹底し、共同防除までに畦畔雑草が発生する場合には、今一度、草刈りや除草剤散布を徹底しましょう!!

「一斉草刈りウィーク 7月6日~7月13日」
斑点米カメムシ被害撲滅運動 実施中!

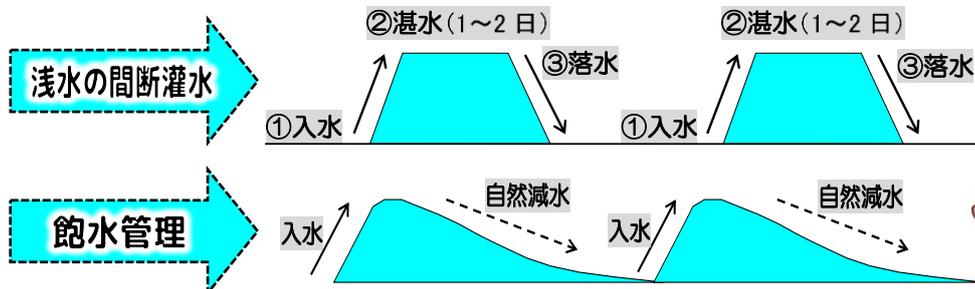


3. 今後の水管理

登熟促進~品質向上には“水管理”が重要です!!

降雨の多い気象傾向が続き、地耐力が確保できていない軟弱なほ場が多くなっています。今後もしばらくは不安定な気象が続く予報ですが…

➡ 「幼穂形成期から出穂期」は、水稻が最も水分を必要とする時期となります。コンバイン収穫に支障のない地耐力を確保しながら、飽水管理の徹底に努めましょう!!



「SDGsな水管理」
水は地域全体の貴重な資源です!!
→ かけ流しに注意してください!!

